

樽前山

9月27日に観測したB噴気孔群周辺の表面温度分布や放熱量に顕著な変化は認められないが、H噴気孔付近では60°Cを超える表面温度が観測された。

○ B噴気孔群周辺の表面温度

2011年5月と比べてB噴気孔群周辺の表面温度分布に顕著な変化は認められない。同様に放熱量もほぼ同程度で変化はない。その一方、観測領域内で最高温度を示すH噴気孔付近では60°Cを超える表面温度が観測された(参考: 2010/05/11/ 42°C、2009/11/22 23°C)。これはH噴気孔付近の表面温度上昇というよりは高温域の拡大を想定させる。

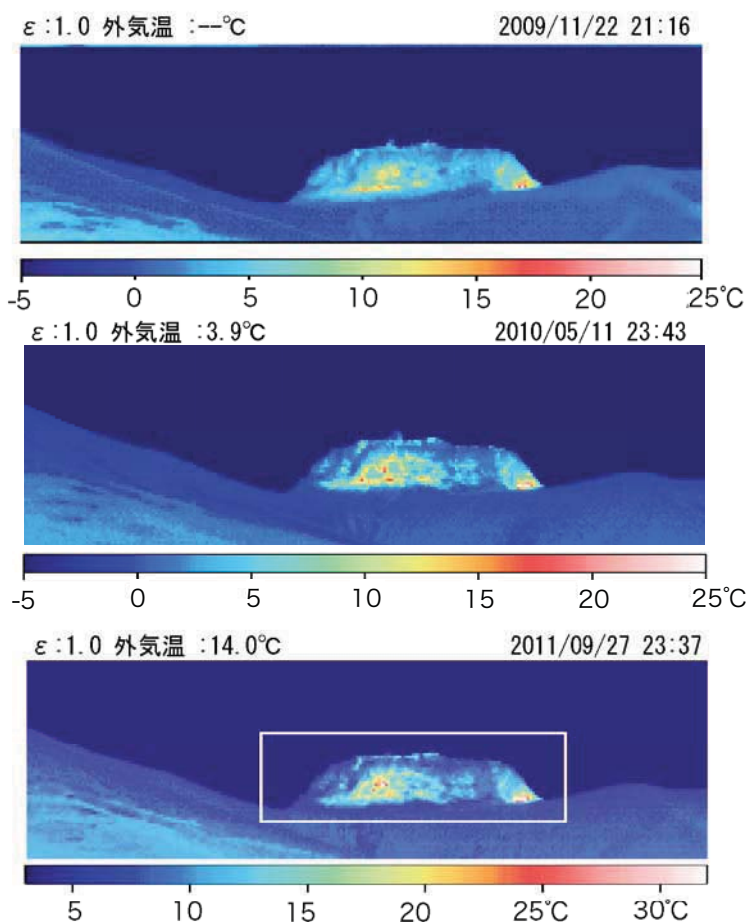


図2. B噴気孔群周辺の熱映像

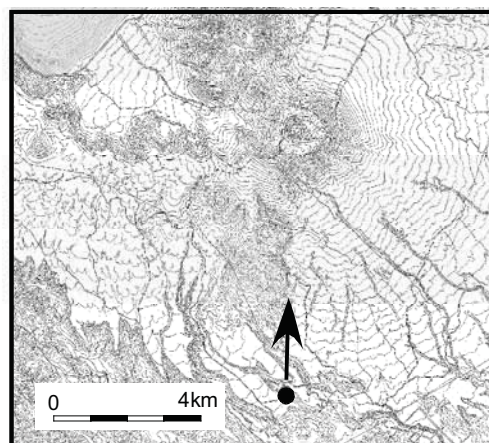


図1. 熱映像撮影地点位置図. 撮影地点はドームの南方およそ7kmに位置する.

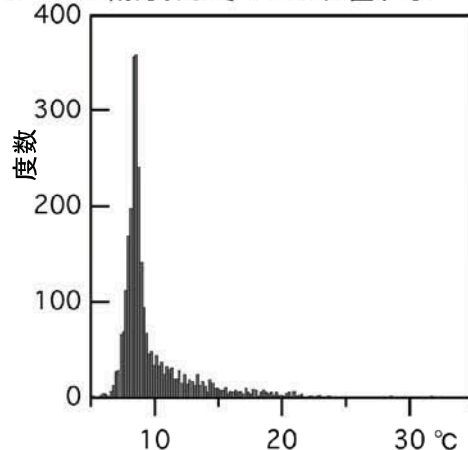


図3. B噴気孔群周辺の表面温度頻度分布 (図2下段白枠内)

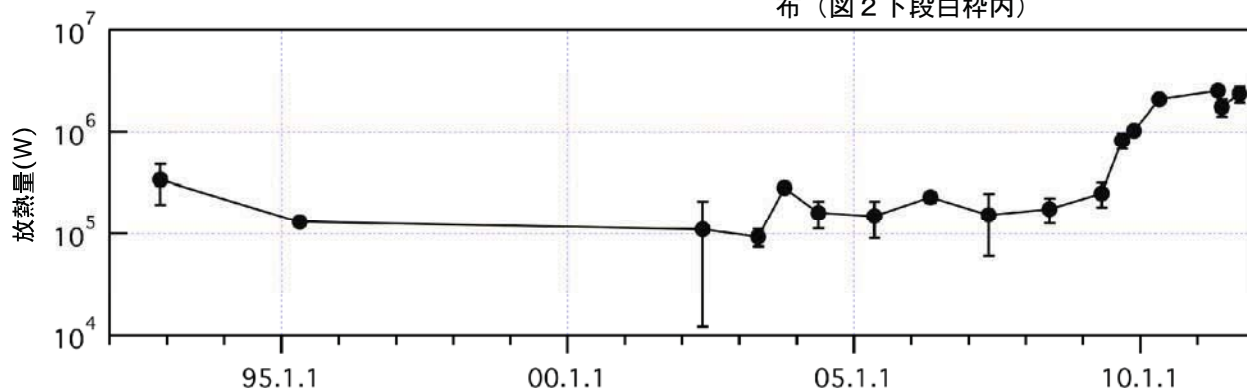


図3. 熱映像から推定したB噴気孔群からの放熱量の時間変化